

教育委員会だより

GuRuMi

まち
ぐるみ

地域
ぐるみ

学校
ぐるみ

第16号

令和4年10月1日
発行

田川市教育委員会

教育委員会・学校と家庭・地域が力を合わせて、 さらなる学力向上を！

田川市教育委員会 教育長 吉 柳 啓 二

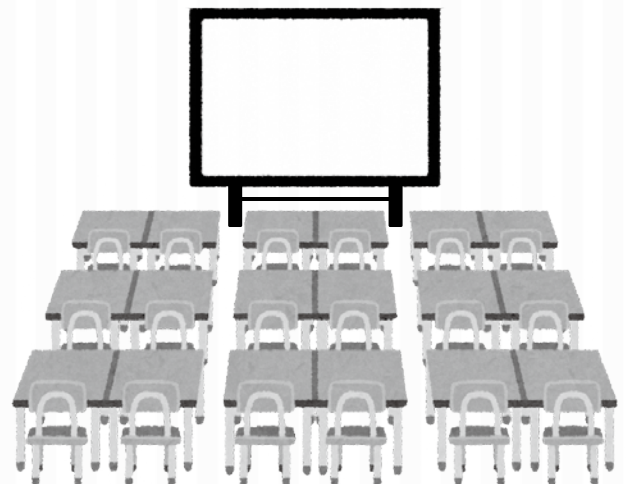
田川市教育委員会と市内小中学校は、平成28年度から6年間、(1)読み・書き・計算の徹底反復学習(2)電子黒板等のICT機器を活用し、自分から進んで学ぶ力を育む授業づくりを柱にすべての子どもたちの学力保障に取り組んできました。この3年間は、新型コロナウイルス感染による臨時休業など大変な状況が続きましたが、各学校とも校長を中心に全職員で教育内容を思いきって絞り込んだり、教育方法を創意工夫したりして、学力向上に努めてきました。おかげで、各学年の学習内容の定着度を調べるために実施する「標準学力テスト」においては、コロナ禍にもかかわらず、小中学校とも学力の伸びが見られました。特に小学校の算数は、全学年が全国平均を超える好成績を2年連続で上げることができました。

また、毎年4月に全国一斉に小6と中3を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」においても、この数年で伸びが見られ、小学校は算数や国語で全国平均を超える学校も出てきました。(この調査は「これからの社会を生き抜くために必要な力がどの程度、一人ひとりの子どもに身についているか」を把握するとともに、国の教育制度や市町村の教育施策及び学校の取組を見直すためのものです)私は「市全体の平均でも、全国平均を超えることができれば、子どもたちが学力にさらに自信を持てる！」と思っていましたが、今回はあと一步、届きませんでした。

現在、本年度の「全国学力・学習状況調査」の分析を教育委員会と学校で進めています。私は、学校での学力向上の取組強化とともに「家庭学習力・読書力」に重点化した取組が必要であると考

えています。と言うのは、全国学力・学習状況調査や高校・大学入試の問題が年々長文化し、文章・表・グラフ等を総合的に読み取り、答えを導き出す力を求める内容となっているからです。日頃より多くの本や新聞等で読解力を鍛えておかないと、なかなか解けない問題が増えています。また、全国学力・学習状況調査で田川市の子どもたちは「家庭学習時間の少なさ」「スマホ・ゲーム時間の長さ」「読書時間の短さ」などで全国と比較して厳しい結果が続いており、大変気になっています。学力向上のためだけでなく、未来を描く想像力や自分らしい学び方・生き方を身につけるためにも、スマホ・ゲーム機を置いて読書をしたり、学習したりする時間を家庭で作ってほしいと思います。

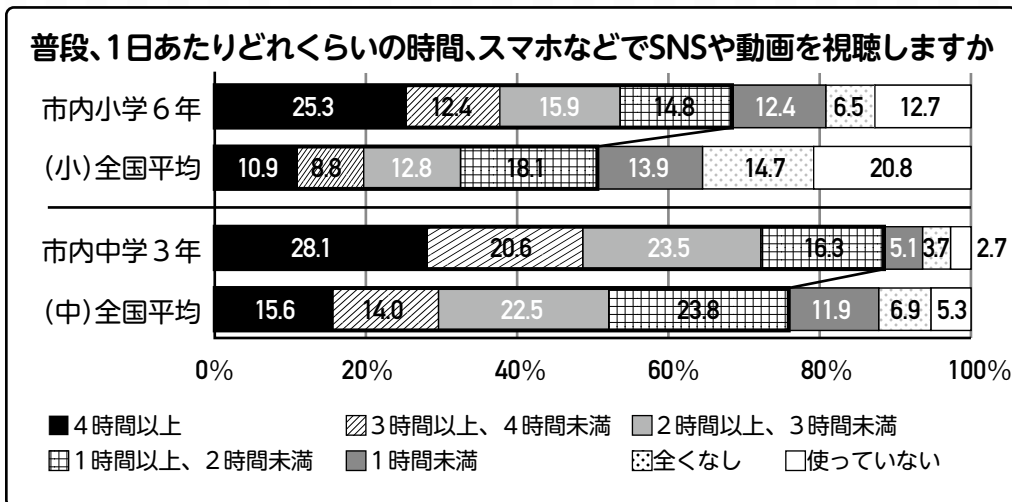
これから、田川市PTA連合会などと協働で「家庭学習力・読書力向上運動」に取り組みたいと考えております。家庭のみなさまの協力と地域のみなさまの熱い応援をお願いします。



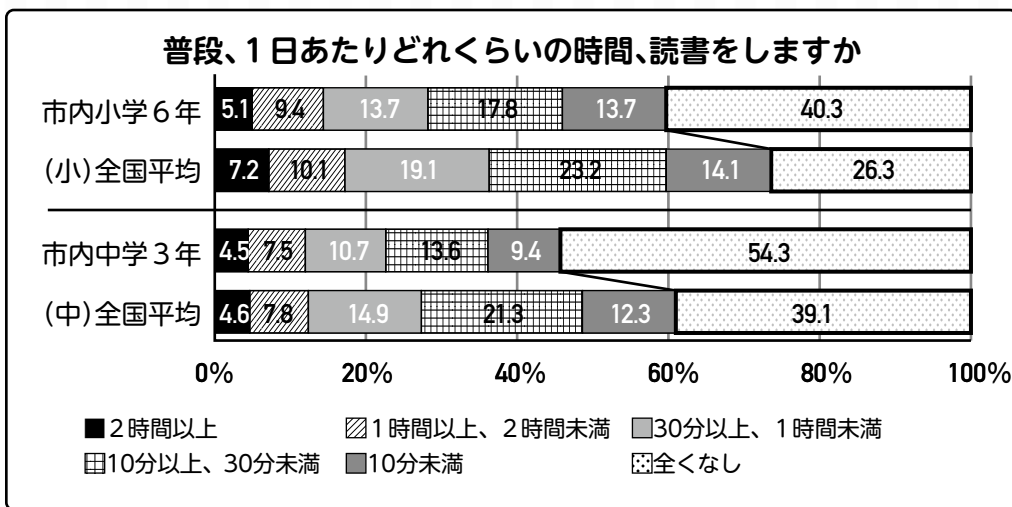
「ぐるみ」で子どもたちの読書習慣の充実を！

～スマホ・ゲームの時間を減らして、本にふれる時間を増やしましょう～

令和4年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の結果によると、市内小・中学生のスマートフォン（スマホ）やゲームの利用時間は全国平均と比べて長く、読書の時間は全国平均と比べて短いということが分かりました。



毎日スマホを1時間以上使っている児童生徒の割合が、全国比を上回っています。



本を全く読んでいない児童生徒の割合が、とても多いです。



今回の学力調査の分析結果によると、スマホなどでSNSや動画を視聴する時間が短い児童生徒ほど、国語や算数・数学の正答率が高いことが明らかになっています。また、さまざまなジャンルの本を1日平均で30～60分ほど読む習慣がついている児童生徒ほど、国語はもちろんのこと算数・数学の正答率が高いことも明らかになっています。（ベネッセ教育総合研究所調べ）

児童生徒の学力向上につながる基盤の一つである「本に親しむ習慣」は、学校だけでなく家庭や地域での読書活動がとても大切です。家庭においても、「読書は大切な家庭学習のひとつ」と捉え、短い時間（10分以上）でも本にふれる時間をつくることや、休みの日などに一緒に図書館に行くなど、家庭でもできる読書活動（略して「うちどく」）に取り組んでみてください。



詳しい情報は
こちら！

「うちどく」のすすめ

ランチボックスによる給食も 残りわずかです！

平成29年度から、中学生の成長を支える、栄養バランスのとれた食事を提供することを目的としたランチボックス給食を開始しました。毎月行われる栄養教諭や弁当業者との意見交流会をもとに、よりおいしく、より栄養のある食事ができるよう、日々改善を重ねてきました。

そのランチボックス給食も、令和5年3月で終了します。新中学校では小学校と同様に自校方式（各学校の給食室において調理する）による給食を提供し、生徒による配膳を行います。

ランチボックス給食の終了まであと約半年、最後まで安全・安心でおいしい給食を提供できるよう、改良を続けていきます。



▲国際交流メニュー：韓国料理の「チーズタッカルビ」

ランチボックス給食

専用の器（ランチボックス）に入った、お弁当のような給食。
冷たいメニューは専用の冷蔵庫で冷やし、温かいメニューは直前に温め直し、提供しています。
季節や行事などに合わせた、特別なメニューも登場します！

生涯学習イベントを開催しました

たがわトコナツキッズ(全5回)

田川市民会館

市内小学生を対象に、普段体験できない活動を通して『楽しむ・知る・考える』力を養うことを目的として82人が参加。工作や人権学習、ニュースポーツ体験をしたりと充実した1日になり、夏休みの楽しい思い出ができました。



カヌー体験教室(8月6日・20日)

彦山川(市立病院下付近)
中元寺川(水辺公園)

市内小学校高学年を対象に少年期における体力の向上を目的として、開催しました。22人の参加があり、田川市スポーツ推進委員の指導のもと怪我や事故もなく無事に開催することができました。



水泳教室(7月25日～29日)

伊田小学校プール

市内小学校低学年を対象に、水に対する恐怖心を払拭し、泳ぐことの楽しさを体感することを目的として開催しました。36人の参加があり、田川市水泳協会協力のもと、水に顔を付けられなかった児童も最終的には泳げるようになったりと、子ども達が成長した5日間となりました。



令和5年4月
開校予定

教えて! 再編ススムくん



新中学校新築工事の進捗状況

令和5年4月に開校予定の田川東中学校と田川西中学校の新築工事ですが、両校とも校舎棟などの主な建物は内外装を含めて、ほぼ工事が完了しました。

今後は、校舎棟周りの工事や学校内で使用する備品の購入・設置などが引き続き行われます。

このコーナーでは、今後も工事の進捗状況についてお知らせしていきます。

田川東中学校 (令和4年8月下旬撮影)

場所：旧伊田中学校敷地内



田川西中学校 (令和4年8月下旬撮影)

場所：後藤寺中学校敷地内



● 中学校再編に関する問い合わせ
田川市教育委員会 新中学校再編推進室
☎85-7169



市ホームページ



ツイッター

市ホームページやツイッターでは「田川市中学校再編推進だより」や中学校再編に関する情報を掲載しています。

これまでの記事につきましては、
ホームページにてカラー版を掲載しています。

